

予算審査特別委員会

第19号議案・令和2年度白石市一般会計補正予算(第9号)から第30号議案・令和2年度白石市下水道事業会計予算までの計12議案について、定例会2日目(2月24日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・平間知一、副委員長・角張一郎)は、3月1日に現地を調査し、同日および3月2日の2日間にわたり審査を行いました。その結果、第25号議案・令和3年度白石市一般会計予算については、反対の討論があり、採決の結果、賛成多数で、残る議案については、全会一致で原案のとおり可決しました。

審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

◎令和2年度白石市一般会計補正予算(第9号)

農林水産業費

〔質疑〕おもしろいし市場の土地購入について、詳細を伺う。

〔答弁〕今回購入しようとする土地は、しろいしサンパークとJA

みやぎ仙南白石支店を結ぶJAみやぎ仙南所有の用地で、当初

は令和2年4月から賃貸借契約により借りて予定であった。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、グラントオーブンが9月となったため、賃貸借契約の延期を認めていただき、

その後、再度、売買の協議を行なったところ、合意をいただいたことから、このたび用地を購入しようとするものである。

衛生費

〔質疑〕各種検診の業務委託料が減額されていることについて

て、新型コロナウイルスの影響で受診者が減少していることもあると思われるが、この状況をどのように分析しているか伺う。

〔答弁〕各種検診事業については、子宮がん検診、胃がん検診などの受診が少なくなっている。

例年、受診率が思うように上がっていない状況に加え、新型コロナウイルスの影響で、密を避け、医療機関や集団検診などに行くのをためらう方もいたのではないかと思われる。

市としては、広報紙などでの周知に努め、検診の種目によつては、未検者に再度通知をすることで検診の呼びかけを行なっているが、今後ともコロナ禍であっても、がん検診などの健康対策は必要であるというこを、更に周知していきたい。

◎令和3年度白石市一般会計予算

総務費

〔質疑〕オリンピック推進事業費として1千404万円が計上されているが、コロナ禍の中、どのような事業計画を考えているのか伺う。

〔答弁〕オリンピックが完全な形で行えるという想定の下に予算を組んでいるが、予定している事業としては、ベラルーシ新体操ナショナルチームの事前合宿、パブリックビューイング(大型スクリーンでの観戦)、応援ツアーを予定している。

ただ、オリンピックの開催状況によつて、変更があれば、観客の制限なども含めて事業を変更し、対応していきたいと考えている。

〔質疑〕ベラルーシとの連絡調整の状況について伺う。

〔答弁〕ベラルーシの新体操ナショナルチームは、第1次希望として、白石市で事前合宿したいとの意向を示している。

現在、国の指導により新型コロナウイルス関係のマニュアルを作成していることから、出来

上がり次第、再度その状況の遵守も含め、実際に事前合宿が可能か最終調整を行なっていく。

民生費

〔質疑〕高齢者等安心見守り事業委託料について、詳細を伺う。

〔答弁〕独り暮らしの高齢者宅に緊急通報端末、安否確認センサーを設置するなど見守りを行なっていく事業で、利用状況は、12月時点で45台設置し運用している。

商工費

〔質疑〕白石スキー場の貸付金として1千500万円を計上しているが、今年は雪が降った方、コロナ禍の影響もあったことと思う。

今年度の状況について伺う。

〔答弁〕今年は雪に恵まれ、スキー場ではコロナウイルス対策もしっかりと行なっていることか